

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	生体機能国際協力基礎研究の推進		事業開始年度	平成元年度	作成責任者	
担当部局	科学技術・学術政策局		担当課室	国際交流官付	国際交流官 匂坂克久	
会計区分	一般会計		上位政策	科学技術の国際活動の戦略的推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月28日)		
事業の目的 (目 指す姿を簡潔に、3 行程度以内)	ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム(HFSP)は、学際性、国際性、若手重視の基本理念に基づく、生体の持つ優れた機能解明に寄与する基礎研究に対する国際共同助成制度である。国際HFSP推進機構への拠出により、国際的な知的公共財を創出し、広く人類全体の利益に供するとともに、科学技術の分野で我が国が国際社会における先駆的役割を果たすことを目的とする。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	本事業は、国際HFSP推進機構の活動である、①国際的・学際的共同研究チームに対する研究助成(研究 Grant)、②若手研究者が国外研究を行うためのフェローシップ、③フェローシップ受賞者の母国での独立を支援するキャリア・ディベロップメント・アワード、④受賞者会合等の実施に必要な経費を拠出するものである。HFSPは我が国及び各国の若手研究者に質の高い共同研究の機会を提供しており、若手研究者の育成訓練の場となっている。また、HFSPは、国内外で高い評価を受けており、研究 Grant 受賞者の中から、平成21年度までに16名のノーベル賞受賞者を輩出している。					
実施状況	<p>各国・地域からの拠出を受けたHFSPの平成21年度の活動状況は以下のとおり。()内はうち日本人研究者数。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究 Grant 事業 若手研究者を中心とする国際共同研究チームの研究を35件(9名)採択。 ○長期フェローシップ事業 若手研究者が国外で研究を行うための旅費、滞在費として、93件(6名)採択。 ○学際的フェローシップ事業 生命科学分野以外の若手研究者が国外で生命科学分野の研究訓練を行うための支援を7件(0名)採択。 ○キャリア・ディベロップメント・アワード事業(CDA) フェローシップ受賞者が、母国での独立した研究を行うための支援として22件(4名)採択。 ○受賞者会合事業 第9回受賞者会合および本プログラムの20周年記念式典(平成21年6月、東京)を開催。 ○その他 平成21年12月及び平成22年3月に評議員会を開催し、HFSPの事業運営や財政等について審議を実施。また、平成22年3月には、「HFSPの創設から20年を経た今、これからの生命科学におけるフロンティアとは何か」をテーマとした“Frontiers Meeting”を開催、世界各国の科学者35名が意見交換を行った。この会議の成果も踏まえ、HFSPの今後のあり方についての提言をまとめた、“HFSP Strategic Outlook”を策定した。 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	2,293	2,234	2,036	1,859	-
	執行額	2,289	2,232	2,039		
	執行率	99.8%	99.9%	100.1%		
	総事業費(執行ベース)	2,289	2,232	2,039		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	毎年国際HFSP推進機構が作成したアニュアルレポートにて拠出金の使途等を把握するほか、我が国からは監査人が任命されており、毎年監査人会合に出席し、その役割をまっとうしている。また、国際HFSP推進機構の運営全般に責任を有する評議員会の会長及び評議員1名が我が国から選出されている。さらに、国際HFSP推進機構の活動方針、予算、年次活動報告、財務諸表を承認する評議員会には文部科学省及び経済産業省の職員がオブザーバーとして出席し、必要な情報の把握を行っている。				
	見直しの 余地	平成22年5月に豪州で開催されたHFSPの支援国による政府間会合において、明確な原則に基づく新たな財政フレームワークを構築するための小作業部会を早急に設置し、平成24年3月までに評議員会への提言を行うこととなった。また、日本以外からの拠出金割合が今後も全体として着実に増加するよう、加盟国は拠出額を継続して増加させることが奨励された。こうした国際的な動きの中で、HFSPの我が国に与える効果について国内専門家によるHFSP国内連絡委員会等で検証を行った上で、我が国の支援のあり方について検討を行う。				
予算 監視・ 所見 率化 チ ーム の	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、生体の持つ優れた機能解明に寄与する基礎研究に対する国際共同助成制度であるヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム(HFSP)の実施を支援するため、国際HFSP推進機構に対して拠出金を拠出する長期継続事業である。</p> <p>2. 所見:20年以上続く長期継続事業であるが、国際機関との関係で必要性が認められる。ただし、国際交流官付の事業だけでなく、国際機関に対して拠出を行う事業は本事業以外にも存在していることから、いったん廃止し整理統合すべきである。その際、文部科学省とともに拠出を行っている経済産業省の動向も踏まえつつ、予算を縮減するほか、高い評価を有する同プログラムに対する日本以外からの拠出増に向けた対外的な取組や日本人研究者の採択拡大のための取組を強化するなどの改善を図るべきである。また、同プログラムの日本語版HP作成等に関する委託費について、他の事業に対する公開プロセスでの指摘等を踏まえ、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>					
補記	平成21年度は、受賞者会合を我が国で実施したため当初予定していた以上の費用が必要となり、他事業からの流用により執行率が100%を超過した。					

文部科学省
(2, 039百万円)

諸謝金	0.3	百万円	} を含む
職員旅費	0.03	百万円	
外国旅費	5	百万円	
委員等旅費	0.2	百万円	
庁費	8	百万円	

国際HFSP推進機構の活動である、生体の複雑な機能の解明を対象として若手研究者を中心とする研究グラント等、HFSPの各種事業の実施に必要な経費を拠出するほか、HFSP運営全般に責任を有するHFSP評議会への出席のための旅費や、受賞者の我が国における特別講演の開催等の経費が含まれる。



〔拠出〕

【A】

国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構
(2, 026百万円)

国際HFSP推進機構の活動である、国際的・学際的共同研究チームに対する研究助成、若手研究者が国外研究を行うためのフェローシップ、フェローシップ受賞者の母国での独立を支援するキャリア・ディベロップメント・アワード、受賞者会合等、HFSPの各種事業を実施。

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)	A. 国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構			C.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	拠出金	研究グラント事業、フェローシップ事業、学際的フェローシップ事業、CDA、受賞者会合を実施するための経費及び管理経費	2,026			
	計		2,026	計		0
	B.			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0	